

研究名： 結核病棟入院中の活動性肺結核患者に対する身体機能維持を目的としたリハビリテーション効果の検証

研究責任者： リハビリテーション科 職名 医師 氏名 伊藤郁乃

研究の背景・意義・目的：

肺結核後遺症に対するリハビリテーションは、生命予後の改善、QOLの改善、運動耐用能の改善に有効であることが報告されています。しかし、活動性肺結核と診断され現在治療中の方を対象としたリハビリテーションの報告はほとんどありません。結核病棟に入院中は活動範囲も制限されることから、治療中の身体機能の低下を防ぐことが重要です。今回の研究の目的は、活動性肺結核患者に対するリハビリテーションの有効性を検証することです。

研究の方法：

・対象となる患者さん

2024年4月1日～2025年3月31日までの期間に活動性肺結核と診断され当院結核病棟に入院された方で、かつ、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を実施された方が対象です。

・研究期間

院長の研究実施に関する決定通知発行後から西暦2027年3月31日

・利用する検体、カルテ情報

カルテ情報 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）ADL(Barthel Index) 転帰 在院日数 等

研究組織：

この研究は、当院のみで実施されます。

個人情報の取扱い：

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

研究計画書等の公表：

この研究に関連した各種データについて知りたい場合は、担当医師を通じてその情報の開示を求めることができます。また、ご希望があれば、研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧や、ご提供することも可能です。ただし、他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等など、情報の種類によっては開示できないものがあります。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご自身の検体やカルテ情報を当該研究に利用することをご了解できない場合などは、研究対象とはしませんので、研究責任者までお申し出ください。そ

の場合でも皆様に不利益が生じることはございませんのでご安心ください。

<問い合わせ先> 独立行政法人国立病院機構 東京病院

リハビリ科 氏名：伊藤郁乃

住所 東京都清瀬市竹丘 3-1-1 電話：042-491-2111 (代)

独立行政法人国立病院機構 東京病院 院長